

## ベネズエラ経済（2014年 2月）

### 1 経済概要

#### （1）政府の各種政策・統計

- マドゥーロ大統領は、10日から「公正価格基本法」の運用を開始する旨発表した。
- 臨時官報6126号は、大統領授權法を通じ、個人及び法人が、現存する公定為替レートとは別枠組で為替取引を行うことを可能とする「為替規則及び不正為替取引取締法」を公布した。

#### （2）政府予算・財政

- 2月に支払期日の到来する対外債務に対する利息額は、ベネズエラ石油公社（PDVSA）債の利息分1億9,100万米ドル含め総額7億2,100万米ドルとなる見通しである。
- 官報40349号にて、国家開発基金（FONDEN）から中国・ベネズエラ二国間基金に対して、10億米ドル拠出する旨公布された。

#### （3）石油・天然ガス産業

- OPEC データによると、1月のベネズエラの原油生産量は、前年同月の日量平均276万バレルに比し4.4%増の日量平均288万バレルであった。  
なお、2013年のベネズエラの原油生産量は、日量平均278万バレルであった。
- PDVSA とベネズエラ石油産業労働者連盟（Futpv）は2013年-2015年賃金改定に掛かる協定の合意に至った。

#### （4）自動車産業

- ベネズエラ自動車会議所（CAVENEZ）は、加盟全7社の1月の自動車生産台数が前年同月の1,945台に比し84.8%減の296台となった旨発表した。

#### （5）その他産業

- ベネズエラ政府は、ベネズエラ観光公社（Venetur）が管轄するホテル近代化予算として中国・ベネズエラ二国間基金から8,200万米ドルを充てる旨発表した。
- 韓国家電メーカー・サムスン電子社は、5月にベネズエラ国内の第1工場を開所する旨発表した。

#### （6）外貨発給状況

- マドゥーロ大統領は、1米ドル=6.3ボリバルを通じた1月の輸入代金決済向け外貨発給額が13億米ドルであった旨発表した。

## 2 経済の主な動き

### (1) 政府等の各種政策・統計

#### ア 経済指標（実績）

##### ●インフレ率

ベネズエラ中央銀行（BCV）は、1月のインフレ率は、前年同月の3.3%と同率の3.3%となった旨発表した。

また、併せて累積インフレ率が、年率56.3%となった旨発表した。

(11日付エル・ウニベルサル紙)

##### ●物資の不足率

ベネズエラ中央銀行（BCV）は、1月の物資不足率が28.0%となった旨発表した。

(11日付BCVウェブサイト)

##### ●失業率

国家統計局（INE）によると、1月の失業率は前年同月の9.4%に比し0.1ポイント悪化し、9.5%（失業者数：1,320,084人）となった。

なお、就業人口におけるフォーマル及びインフォーマルセクター従事者は、それぞれ59.9%、40.1%であった。

(19日付エル・ウニベルサル紙)

##### ●食糧バスケット価格

国家統計局（INE）によると、1月の食糧バスケット価格は、前月比9.5%増の3,640.55ボリバルとなった。なお、2013年の年間での増加率は59.4%となった。

労働者情報分析センター（CENDA：el Centro de Documentacion y Analisis para los Trabajadores）によると、1月の食糧バスケット価格は6,366.40ボリバルとなり、年間上昇率は66.6%となった。

(18日付エル・ムンド紙及び3月26日付エル・ウニベルサル紙)

##### ●2013年公的分野における対GDP比財政赤字

エコ・アナリティカ社は、2013年の公的分野における財政赤字は対GDPで前年の15.6%から11.5%となった旨発表した。

(21日付エル・ウニベルサル紙)

#### イ 経済指標（見通し）

##### ●2014年SICAD1為替レート見通し

Sintesis Financiera社は、2014年末時点のSICAD1為替レートを1米ドルあたり14ボリバル、年平均で12.4ボリバルとなる見通しを発表した。

(19日付エル・ウニベルサル紙)

## ウ 各種政策・規制・規則

### ●公正価格基本法

マドゥーロ大統領は、10日から「公正価格基本法」の運用を開始する旨発表した。

(6日付エル・ウニベルサル紙)

### ●コロンビア向け家族送金の停止

臨時官報6124号にて、コロンビア向け家族送金に対する外貨割当許可及び外貨決済許可承認を停止する旨公布した。

(7日付臨時官報6124号)

### ●Bolipuertosサービス料引上げ

ベネズエラとキューバの合併港湾管理公社は、為替取決め25号に基づき、米ドル建て港湾サービス料を1米ドルあたり6.3ボリバルからSICAD1取引レートである1米ドルあたり11.70ボリバルへ85.71%引上げた旨発表した。

(18日付エル・ウニベルサル紙)

### ●輸入時に要請される書類数

世界銀行調査によると、輸入手続きに求められる書類数で、ベネズエラは9種類とラテンアメリカ地域においてパラグアイと並び最多となった。なお、最少はパナマで3種類であった。

(19日付エル・ムンド紙)

### ●食糧備蓄率の引上げ

マドゥーロ大統領は、食糧備蓄率を2008年に法律で定められた3ヶ月から4ヶ月に上げるべく、45億ボリバルの予算を承認した。

(19日付エル・ウニベルサル紙)

### ●租税単位引上げ

19日付官報40359号は、租税単位を1ボリバルあたり107から127へ18.7%引上げる旨公布した

(19日付官報40359号)

### ●SICAD2（新為替スキーム）の創設

19日臨時官報6126号は、大統領授權法を通じ、個人及び法人が、現行公定為替レートとは別枠組で為替取引を行うことを可能とする「為替規則及び不正為替取引取締法 (el Decreto con Rango, Valor y Fuerza de Ley del Regimen Cambiario y sus Illicitos)」を公布した。

(19日付臨時官報6126号)

### ●非労働日の設定

25日付官報40363号は、27日及び28日を非労働日とする旨公布した。

(25日付官報40363号)

## エ 組織・人事

### ●閣僚等人事

マドゥーロ大統領は、商業大臣にダンテ・リバス元環境大臣を任命した。

(4日エル・ウニベルサル紙, エル・ポパル紙, 及びエル・ムント紙)

官報40351号にて、ベネズエラ中央銀行 (BCV) 理事にエウドマル・トバル前BCV総裁を任命する旨公布した。

(7日付官報40351号)

## オ 貿易統計

### ●対米貿易

米・ベネズエラ商工会議所 (Venamcham) によると、2013年対米貿易収支は以下のとおりとなった。

単位: 百万US\$

	2013年	2012年	増減	増減(%)
輸入	13,220	17,631	▲ 4,411	▲ 25.0%
(内原油・石油)	2,549	3,402	▲ 853	▲ 25.1%
輸出	31,997	38,726	▲ 6,729	▲ 17.4%
(内原油・石油)	30,888	37,377	▲ 6,489	▲ 17.4%
貿易収支	18,777	21,095	▲ 2,318	▲ 11.0%

出典:7日付エル・ムント紙(Venamchamデータ)

### ●対チリ貿易

チリ税関庁のデータによると、2013年のベネズエラ向け輸出額は前年同期比21.7%減の5億3,690万米ドル、ベネズエラからの輸入額は同32.4%減の1億3,290万米ドルとなった。

(24日付エル・ムント紙)

## カ 政府ミッション進捗

### ●住宅ミッション

ラミーレス経済担当副大統領は、住宅ミッションに関わる住宅1軒当りのコストを2013年11月の25万~35万ボリバルから40万ボリバルへ引上げた旨発表した。

(18日付エル・ウニベルサル紙)

## キ 対外関係

### ●第14回ベネズエラ・キューバ政府間会合

ベネズエラ石油公社 (PDVSA) プレスリリースは、第14回ベネズエラ・キューバ政府間会合をカラカスにて開催し、計56のプロジェクト及び最終議定書の署名に至った旨発表した。

(20日付PDVSAプレスリリース)

## (2) 政府予算・財政

### ア 税収

#### ● 1月徴税額

租税監督庁 (SENIAT) によると、1月の徴税額は対予算比127.7%増の233.4億ボリバルとなった。内訳は消費税が149.2億ボリバル、所得税が52.4億ボリバル、関税が15.3億ボリバル、その他が16.5億ボリバルとなった。

(2月17日付SENIATプレスリリース)

### イ 追加予算

2月の追加予算承認額は167.8億ボリバルとなり、1-2月の追加予算承認累計額は、前年同期比255%増の328.2億ボリバルとなった。

(3月7日付エル・ウニベルサル紙)

### ウ 公的債務

#### ● 2-3月ボリバル建て国債発行計画

経済・財政・公共銀行省は、2-3月の国債発行計画を128億ボリバルと発表した。

なお、2014年の借款法は年間の国債発行額を1,050億ボリバルとする旨承認済み。

(5日付エル・ウニベルサル紙)

#### ● 2月対外債務に対する利息支払

2月に支払期日の到来する対外債務に対する利息額は、ベネズエラ石油公社 (PDVSA) 債の利息分1億9,100万米ドル含め総額7億2,100万米ドルとなる見通しである。

(19日付エル・ムント紙)

#### ● ボリバル建て国債発行進捗状況

経済・財務・公共銀行省のデータによると、2月14日までのボリバル建て国債発行進捗状況は、前年同期に比し52%減の72億ボリバルとなった。なお、本発行額のうち、72%相当が債務サービスの支払いへ充てられる。

(24日付エル・ムント紙)

### エ 中国・ベネズエラ二国間基金

官報40349号にて、国家開発基金 (FONDEN) から中国・ベネズエラ二国間基金に対して、10億米ドル拠出する旨公布された。

(5日付官報40349号)

### (3) 石油・天然ガス産業

#### ア 原油生産・輸出・輸入動向

##### ●生産量

OPEC データによると、1月のベネズエラの原油生産量は、前年同月の日量平均276万バレルに比し4.4%増の日量平均288万バレルであった。

なお、2013年のベネズエラの原油生産量は、日量平均278万バレルであった。

(13日付エル・ウエラル紙)

#### イ プロジェクト動向

##### ●融資の合意状況

ラミーレス石油鉱業大臣は、仏系石油会社 Preenco からベネズエラ石油公社 (PDVSA) との合弁企業である Petrowarao 向け6億米ドル、及びベネズエラ Suelopetrol から PDVSA との合弁企業である Petrocabimas 向け3億米ドルの新規融資の合意に至った旨発表した。

(26日付エル・ウエラル紙)

#### ウ 対外取引

##### ●対米国

米国エネルギー情報局によると、2013年1月-11月の米国によるベネズエラ向け石油輸出量は、前年同期に比し10.6%増となる日量平均8.3万バレルとなった。

(3日付エル・ウエラル紙)

##### ●対ペトロカリベ

ラミーレス石油鉱業大臣は、2013年のペトロカリベ諸国原油取引において、8億ドル相当の支払いが食糧の輸入を以て行われた旨発表した。

(17日付エル・ナショナル紙)

#### オ その他

##### ●ベネズエラ石油公社 (PDVSA) 労働者賃金改定

PDVSA とベネズエラ石油産業労働者連盟 (Futpv) は2013年-2015年賃金改定に掛かる協定の合意に至り、それぞれ2013年10月から70ポリバル、2014年5月に119.10ポリバル、2015年1月に10ポリバルの賃上げで合意。なお、約78,000人の労働者に対して食糧チケットの支給額(月額)を3,700ポリバルから5,000ポリバルへ引上げることも合意に至った。

(19日付エル・ウエラル紙)

#### (4) 自動車産業

##### ア 生産・組立/販売台数

ベネズエラ自動車会議所 (CAVENEZ) は、加盟全7社の1月の自動車生産台数が前年同月の1,945台に比し84.8%減の296台となった旨発表した。

他方で、1月の国内生産車、輸入車の国内販売台数は、前年同月に比しそれぞれ87.0%減の722台、99.6%減の14台となった。

(4日及び7日付 CAVENEZ 発表)

##### イ ベネズエラ・トヨタ社工場稼働休止

ベネズエラ・トヨタ社は、2月13日から工場稼働を休止する旨発表した。

(8日付エル・ウニベルサル紙, エル・ナショナル紙, エル・ムンド紙)

#### (5) その他

##### ア 観光

###### ●2013年1-11月米ドル建て航空券販売

国際航空運送協会によると、ベネズエラに関連する米ドル建て航空券販売額が、前年同期に比し、79%増の30.27億米ドルとなった。

なお、航空券販売数は、前年同期に比し23%増の290万枚となった。

(4日付エル・ムンド紙)

###### ●ベネズエラ観光公社 (Venetur) 管轄ホテルの近代化

ベネズエラ政府は、ベネズエラ観光公社 (Venetur) が管轄するホテル近代化予算として中国・ベネズエラ二国間基金から8,200万米ドルを充てる旨発表した。

(17日付エル・ウニベルサル紙)

##### イ 電気通信

###### ●2013年第4四半期末普及状況

電気通信委員会 (Comision Nacional de Telecomunicaciones) によると、2013年第4四半期末時点におけるインターネットのべ利用者数は、前年同期比1.94%増の3,609,888人、固定電話のべ利用者数は同1.64%増の7,773,777人、及び携帯電話のべ利用者数は同0.56%増の31,909,692人となった。

(20日付エル・ウニベルサル紙)

##### ウ 家電

韓国家電メーカー・サムスン電子社は5月にベネズエラ国内の第1工場を開所する旨発表した。

(21日付エル・ムンド紙)

## (6) 外貨発給状況

### ア SICAD

#### ●競売参加条件

国家貿易機関（CENCOEX）規則にて、政府系銀行を介した外貨取得が義務づけられることとなった。

(11日付エル・ムント紙)

#### ●競売実績

ベネズエラ中央銀行（BCV）によると、2月のSICAD 1による競売実績は、14日の競売結果では、法人745社に対し総額2億1,600万米ドルを1米ドル=11.70ボリバルのレート、21日の競売結果では、法人1,116社に対し総額2億1,987万米ドルを1米ドル=11.80ボリバルのレート、及び24日の競売結果では、法人354社に対し総額9,310万米ドルを1米ドル=11.00ボリバルのレートで供給した。

(14日及び21日付BCV/CENCOEXプレスリリース、及び3月2日付エル・ウニベルサル紙)

### イ 1月外貨決済額

マドゥーロ大統領は、1米ドル=6.3ボリバルを通じた1月の輸入代金決済向け外貨発給額が13億米ドルであった旨発表した。

なお、2012年1月に民間分野に対し発給された外貨はALADI及びSUCREを除き19.18億米ドルであった。

(8日付エル・ウニベルサル紙)